

令和6年度 和歌山大学経済学部第3年次編入学選抜

小論文

出題意図・解答例

【問題1】

設問1

出題意図：

社会科学に関するまとまった文章を読み、問題文で示された著者の意見を整理し、文章化する能力をみる。

解答例：

日本では、世帯の収入と自動車の保有率には明確な比例関係があるなど、経済的条件によって移動の自由に関する格差が発生している。そのような中、代表的な生活インフラである総合医療機関への公共交通アクセスを整備することは、社会的排除の解消や、生活の質の確保の観点から意義がある。さらに、総合医療機関への公共交通アクセスを整備することで、医療・福祉等の行政費用の節約といったクロスセクター効果も期待できる。 (197字)

設問2

出題意図：

図のポイントを端的に表現する能力と、図の概要を説明する能力をみる。

解答例:1995年に対する2015年の人口増減率の比較 (19字)

駅から半径2km以内のメッシュでは、人口減少が0~25%とおおむね現状維持にとどまる割合が3割程度ある。これに対して駅なしのメッシュでは、その割合が2割である。駅から半径2km以内のメッシュでは、人口半減以下が予想される割合が1割未満であるのに対して、駅なしのメッシュでは3割弱である。これらのことから駅の存在と駅周辺地域の人口変動との間には、何らかの関連性があるものと考えられる。 (188字)

令和6年度 和歌山大学経済学部第3年次編入学選抜

小論文

出題意図・解答例

【問題2】

設問1

出題意図：文章の展開に沿って内容の理解もふまえたうえで、テレワークの導入に伴い生じる職場での不公平感の解消方法のあり方について、解答者自身の考えを問うている。

解答例

不公平感の解消方法について、適切な論拠に基づいているかどうかを問う。時事問題について、解答者が日頃から関心を有しているか、情報を収集し、考察しているのかが、論拠の適切性に影響を与える。このように解答者の関心と、関心に基づいた知識、さらに論述する能力を総合的に判断する。よって解答例はない。

設問2

出題意図：テレワークの第二のデメリットをできるだけ少なくするための方法について、具体的で、論理的な思考力を問うている。

解答例：解答者自身の考えをたずねており、解答例はない。解答者が説得力のある議論を展開できているかどうかを評価する。